

2018年7月 第3号

熊本大学 学生支援室だより

～There is always light behind the clouds.～



☆学生支援室は開設3年目に入りました

障がいの有無によって分け隔てられることのない「共生社会」の実現に向けた様々な施策が展開されたことを背景に、平成27年11月、熊本大学に設置された学生支援室も開設から3年目に入りました。学生の円滑な修学の基盤となる日常生活や社会生活に関する事柄も含めて模索し、それぞれの状況に合わせ、適切な配慮や支援について共に考えることができるよう心がけています。合理的配慮や支援を行う際に、学生はもちろん、教職員の皆さまと直接ご相談させていただく機会も増え、「学生支援室」についても多くの方に知っていただけているように感じます。高等学校までの教育とは大きく異なる大学という環境の中で、これまでにはなかった困り事を感じたり、周りの誰かがそれに気づくことがあるかもしれません。その時はいつでも「学生支援室」へご相談いただき、医師や臨床心理士、この春から新しくスタッフに加わったキャンパスソーシャルワーカー（藤本）、事務スタッフと共にお話を聴かせていただくことから始めていきたいと思っています。

☆平成29年度卒業式・平成30年度入学式において要約筆記（文字通訳）を実施しました



要約筆記（文字通訳）を担当したのは「熊本大学学生サポートサークル（旧：熊本大学ノートテイクサークル）」です。熊本大学では、初めての試みとなりました。

3月の卒業式、そして4月の入学式のため、メンバーは練習日を増やし、準備を整え要約筆記に臨みました。

式典会場の袖にメンバーが座り、パソコンで要約筆記を行い、舞台の上のスクリーンを使って文字通訳をしました。また、式典会場の外のスクリーンにもテロップ形式で文字を映し出しました。会場外では音声聞き取りにくい場所もあり、この文字通訳がたいへん役立ちました。

*要約筆記とは、文字を利用して音情報をきこえない人やきこえにくい人に伝え、その場にいるすべての人々の「場」への対等な参加を保障する「情報保障」の取り組みのひとつです。具体的には、対象学生が受講している席の横に座り、講師の言葉を文字に書き起こします。熊本大学学生サポートサークルは、この支援を行っています。



☆『合理的配慮』をご存じですか？

文部科学省は、「障がいのある学生の修学支援に関する検討会第一次まとめ(2012)」において、大学等における合理的配慮とは、「障がいのある学生が、他の者と平等に『教育を受ける権利』を享有・行使することを確保するために、大学等が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障がいのある学生に対し、その状況に応じて、個別に提供されるもの」と定義しています。平成28年『障害者差別解消法』の施行に伴い、各大学において障がいのある学生への支援体制が整備され、熊本大学でも、障害者基本法の基本理念に基づき、学生、並びに入学を希望する人の人権を擁護し、相互に人格と個性を尊重しながら、共に学び合うことを目指しています。各関係機関における研修や積極的な取り組み等により、障がいのある学生への支援が進展しつつあるものの、人員不足や合理的配慮の決定手順、紛争処理に係るプロセス等が十分に具体化されていないことや、対応に苦慮する現状も踏まえ、「障がいのある学生の修学支援に関する検討会第二次まとめ(2017)」では、より具体的な対応方法に踏み込んだ内容について議論され、その内容について公表されています。

【各大学等が取り組むべき主要課題とその内容】

～文科省：障がいのある学生の修学支援に関する検討会（平成28年度）第二次まとめより～

(1) 教育環境の整備

変えることのできない教育の目的・内容・評価の本質を確認・維持した上で、提供方法の調整やアクセシビリティを確保する。

(2) 初等中等教育段階から大学等へ移行（進学）

高等学校や特別支援学校高等部で提供されてきた支援の内容・方法等の大学への引き継ぎの円滑化、大学等からの情報発信強化が重要。

(3) 大学等から就労への移行（就職）

障害者雇用促進に関する様々な制度やサービス、機関があり、学内にも就職支援関係部署が複数あるため、一般の学生に比べて就職活動が複雑。そのため、早い段階から学生に多様な情報や機会を提供すると共に、関係機関とのネットワーク作りが重要。

(4) 大学間連携を含む関係機関との連携

地域・課題単位での多層的な連携が必要。生活面への配慮を要する相談は、福祉行政・事業者と連携し、公的サービスやボランティアも含めた幅広い支援の検討が望まれる。

(5) 障がいのある学生への支援を行う人材の養成・配置

組織的な支援を適切に行うため、様々な専門知識や技術を有する支援人材の養成・配置が不可欠。

(6) 研究・理解促進

教職員に加えて、支援補助学生を含めた学生全体に対しての理解促進の取組も重要。

(7) 情報公開

支援に関する姿勢・方針や取組は積極的に公開する。これらの公開にあたってはアクセス可能な形で情報提供することが重要。



【合理的配慮の内容を決定する際の留意事項】

- 大学等が一方的に決めるのではなく、障がいのある学生本人の意思決定を重視する。
- 障がいのある学生の困り感やニーズを丁寧に聴き取るとともに、大学等としてできること、できないことを伝えるなど、建設的な対話を重ねて双方が納得できる決定ができるようにする。
- 授業担当者や特定の教職員の個人判断ではなく、組織として最終決定を行う。
- 教育の目的・内容・評価の本質を変えない。成績評価のダブルスタンダードは設けない。
- 体制面、財政面において、均衡を失した、又は過度の負担を課さない。



平成 30 年 3 月、日本学生支援機構から『合理的配慮ハンドブック～障害のある学生を支援する教職員のために～』が発行されました！担当教職員の手引きとして、また障がいのある学生との面談時などに利用できるものとなっております。日本学生支援機構の HP から閲覧可能ですので、ぜひご覧下さい！

《学生支援室の活動状況》

■要約筆記養成講座について

平成 30 年 3 月 6 日(火)、7 日(水)、8 日(木)3 日間の日程で、「聴覚障がい」の理解のための講演・講義、実際に要約筆記を行うための実践練習を行いました。昨年までは、学生のみを対象として開催していましたが、「聴覚障がい」への理解を深めていただく上で参考になる内容ということで、今年は教職員も対象としました。参加者の「参加して良かった。」のお声をたくさんいただく事が出来ました。

感想の一部を紹介します

- * 「聞こえない」とはどういう状態なのかを、初めて知りました。ただ声や音が聞こえにくい（小さく聞こえる）だけ、大きな声で話せば伝わると思っていました。間違った理解でした。そこを理解していなければ、正しい支援は出来ないと思いました。（職員）
- * 授業形式でのパソコンテイク体験ができて、とても有意義な時間を過ごすことができました。（学生）
- * 手話は文化であるという説明は、新たな概念でした。（職員）

学生支援室では、障がいへの理解を深めていただくために、今後もこのような機会を設けていきたいと考えております。ご関心のある皆さまに、是非参加していただけますようお願いいたします。

■前期 大学生のためのソーシャルスキルトレーニング（SST）を開始しました！

学生支援室では、平成 28 年度より、およそ年 2 回 SST を行っております。SST はソーシャルスキル（社会生活を円滑に送るのに役立つコミュニケーションや感情表現の方法）を身につけていくための練習です。少し遅くなりましたが、今年度前期も SST を開始しました！6 月 14 日から 7 月 19 日までの毎週木曜日 14：50～16：00、全 6 回の予定です。気軽にアイデアを出し合える場にしていきたいと思っています。途中参加も可能ですし、後期 SST も実施予定です。気になった方は、是非、学生支援室までご連絡下さい。

■全学教育棟多目的トイレに、「フィッティングボード（収納式着替え台）」を設置しました。

〈3ヶ所・・・B棟、E棟、F棟〉

多目的トイレは、身体障害者の方、性別違和の方、着替えをしたいけど更衣室が近くにないとき等々、いろんな方に多目的に使っていただける場所です。「休憩用椅子」「荷物用カゴ」も設置してありますので、用途に合わせてお使い下さい。



※普段は壁にたたんだ状態になっております。使用時は床に倒して使用して下さい。

■バリアフリーマップ製作中です！

現在、熊本大学学生サポートサークルの皆さんが中心となり、黒髪南キャンパス（理学部・工学部）のバリアフリーマップ製作を開始しています。実際に車いすに乗り、移動してみると、『ちょっと大変』『これがあると便利』という箇所が、続々と見つかっています。建物（施設）を利用しようとする方々にとって、その建物（施設）の情報はとても有用で便利となります。



障害の有無にかかわらず、すべての利用者が使いやすい大学となるように、まずは熊本大学の全キャンパスのバリアフリーマップの製作を目指し、頑張っています。

■◇■ サポートスタッフ募集!! ■◇■

学生支援室では、これまであったノートテイクサークルの活動を拡大し、様々な障がいへの支援が提供できる体制作りを進めています。名称を『学生サポートサークル』へと変更して活動中です。サークルでは、サポートスタッフとして活動をしてくれる学生さんを募集していますので、バリアフリーマップの作成やノートテイク、手話に興味のある方、誰かのためになにかしたいと思っている方、質問からでも大丈夫です。下記までご連絡下さい。



熊本大学 学生支援室 (Student Accessibility Support Room)

場所：黒髪北キャンパス 全学教育棟1階
 開室時間：月～金 8:00～17:15(祝祭日を除く。)
 TEL：096 (342) 2765, 2766
 HP：<https://sien.kumamoto-u.ac.jp/>

